

平成26年度 一般会計 予算見積 事業別概要書 (当初)

款	3. 民生費	大事業	12. 家庭保育運営事業
項	3. 児童福祉費	中事業	
目	4. 保育園費	担当所属	子育て支援課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額			5年間計画額	
臨時	補助	計画	3,032	20,193	実施計画	第1章	「思いやりと希望にみちたまちづくり」～保健・福祉の充実、子育て・子育て環境の充実～	52,319
						基本施策4	安心して子どもを産み育て、子育てしやすいまちにします	平成23年度 1,065 平成24年度 1,057 平成25年度 3,747
						施策1	保育サービスの拡充を図ります	平成26年度 23,225 平成27年度 23,225

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	14,750	23,225
本年度当初査定額		

財源内訳	分担金及び負担金	県支出金	国支出金	地方債	繰越金	繰入金	雑収入	一般財源
本年度当初要求額	5,540	9,210						8,475
本年度当初査定額								

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 家庭的な雰囲気の中で乳幼児をお預かりする制度で、佐倉市方式により個人型で行っていますが、あわせて、より待機児童対策として有効なグループ型小規模保育事業を委託により実施します。</p>	<p>(事業の目的) 家庭的な雰囲気の中での保育が提供でき、多様化する保育ニーズに応えるとともに、待機児童の対策の一端を担います。</p>	<p>(事業の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待機児童問題及び多様化する保育ニーズへの対応として、その役割が期待できます。 ・家庭的な雰囲気の中で、乳幼児の健全な育成を図ります。 ・待機児童の多い地区において、待機児童の多い年齢に限定し、グループ型小規模保育事業を実施することで、住民のニーズに合致した子育て支援を行うことができます。
<p>(事業実施上の問題点) 個人型の家庭保育制度は保育員の登録が少なく、利用も少ない。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 個人型の家庭保育制度は保育員の登録が少なく、利用が進まない状況である。そこで、待機児童対策の効果が期待されるグループ型小規模保育事業を民間事業者に委託するかたちで、実施していくこととした。</p>	<p>(見積についての特記事項) ・個人型については、登録者、利用者ともに縮小した形とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ型は、25年度中に事業者を決定し、事業開始の準備をすすめ、26年4月から開始できるようにした。

節	本年度 当初要求額	前年度 当初予算額	増減額
12	8	29	△21
13	22,969	1,776	21,193
20	248	1,177	△929

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
		12	01	01	03	10	00	グループ型小規模保育保護者負担金	5,540		0
	15	02	02	03	06	00	安心こども基金事業費補助金	9,210		332	8,878
差引一般財源								8,475		2,700	5,775